

学生団体で新型コロナウイルス陽性者が判明したとき (大学生・大学院生)

【活動再開時に実施】

団体の活動に対する  
感染リスクを確認してください

- リスク高：マスク無しで1m以内に接近する可能性がある。
- リスク中：濃厚接触者相当<sup>+</sup>となる可能性はあるが、マスク無しで1m以内の近接はない。
- リスク小：常時マスクを着用する等、活動中に濃厚接触者相当<sup>+</sup>となる行動は全くない。

団体に所属する学生から新型コロナウイルス陽性者になったと連絡があった。

→ 陽性の学生には、発症の2日前より後に“私的活動で濃厚接触者相当<sup>+</sup>となる学生”がいる場合、必ず連絡するように指示してください。

陽性が判明した所属学生は、発症の2日前より後に“**団体活動(合宿所の居住を含む)**”または“**団体所属学生が複数参加するイベント(活動前後の飲食等を含む)**”に参加していましたか？

YES

NO

対面での団体活動を一時停止してください

- ・ 団体所属の全学生に対して、団体内で陽性者が判明したため、「対面活動を一時停止すること」、「濃厚接触者相当が確定するまでは、なるべく外出を控えること」、「体調不良者は申告すること」を早急に連絡してください。
- ・ 団体の会長(部長)の教員、学生総合センター(体育会事務室)、保健管理センターに、「**団体所属学生に陽性者が判明したため、団体活動を一時停止すること**」を報告してください。

対面での団体活動  
継続可能

- ・ 団体の会長(部長)の教員、学生総合センター(体育会事務室)、保健管理センターに、「**団体所属学生に陽性者が判明したが、活動中に濃厚接触者相当となつた学生がいないので活動を継続すること**」を報告し、承認を受けてください。
- ・ 陽性者から濃厚接触者相当の連絡が個別にあった所属学生は自主隔離してください。

団体活動の感染リスクに応じて対面活動の再開時期を決定し、団体の会長(部長)の教員、学生総合センター(体育会事務室)、保健管理センターの承認を受けてください。

リスク高

リスク中

リスク小

- ◆ 原則7日間<sup>+</sup>の対面活動停止
- ◆ 濃厚接触者相当が確実に否定できる学生以外は7日間<sup>+</sup>の自主隔離

・ 集合前後の飲食、更衣や休憩などを含む団体に関連する全ての活動を対象に、陽性者と濃厚接触の可能性が確実に否定できる所属学生(活動場所・時間が明確に異なる等)については、体調を確認して対面活動再開可能。

- ◆ 濃厚接触者相当の学生を調査
- ◆ 濃厚接触者相当となる可能性がある学生は7日間<sup>+</sup>の自主隔離
- ◆ 調査終了次第、自主隔離の学生以外は、対面活動再開可能<sup>\*</sup>

・ 活動前後の飲食、更衣や休憩などを含む団体に関係する全ての活動を対象に陽性者と濃厚接触相当となる可能性のある所属学生を調査。

- ◆ 発症日2日前以降における団体の活動状況を確認後、対面活動再開可能<sup>\*</sup>

・ 陽性者を含む複数の所属学生が参加した、飲食などの濃厚接触のリスクのある会合がないことを確認。  
・ 更衣や休憩などを含む活動中の感染予防策が徹底され、濃厚接触の可能性がないことを確認。

<sup>+</sup> 慶應義塾新型コロナウイルス感染症対策本部ではオミクロン株の感染力を踏まえ、塾生に感染予防を目的とした自主隔離をお願いする“濃厚接触者相当”の基準を設定しています。  
<sup>+</sup> 行政による濃厚接触者の自宅待機期間が変更されたときは、それにしたがってください。  
<sup>\*</sup> 対面活動再開の条件を満たせないときは、7日間の対面活動停止をしてください。 慶應義塾新型コロナウイルス感染症対策本部